

令和3年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	4年間の目標 (令和2度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	児童・生徒が主体的に学び行動し、対話的に学び高めあう力を育み、地域の資源等を活用した活動を取り入れ、社会に開かれた教育課程を編成する	①校内研究のテーマとして授業実践・授業改善・授業研究に取組む。 ②地域の資源等を活かした活動や授業を実践し検証する。	①教員一人一回テーマを取り入れた研究授業を行う。 (略案可) ②各学部で地域の資源を活用した授業に取組む。	①テーマを取り入れた授業について教員一人一回の研究授業を実施し、生徒・保護者・他の教員による評価を得て授業改善できたか。 ②各学部で地域の資源を活用した授業を工夫して取組むことができた。
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	児童・生徒一人ひとりのニーズに応じた専門性の高い指導を行うと共に校内指導体制をさらに整備する。	①「学部コーディネーター」の役割を明確化し、学部・部門内での相談・支援体制を充実させる。 ②学部や児童・生徒の実態に応じた「アセスメント」を行い授業等へ活用する。	①「学部コーディネーター」が核となり、学部のケース会や研修を行う。 ②各学部で「アセスメント」についての研修を専門職等と協力して実施し、個別教育計画を作成に際し活用する。	①「学部コーディネーター」の役割が明確となり学部の実態に応じたケース会や研修が実施できたか。 ②アセスメントを活用して作成した個別教育計画に基づき、授業計画をたて実施できたか。(教員アンケートでの「授業で活用できた」85%)
3	進路指導・支援	個々のライフキャリア・ワークキャリアを見据えた進路指導・支援を行う。	①全ての学部の教員が進路指導・支援に関する知識や実践力を向上させる。 ②全学部でキャリアパスポートの活用に向けて理解を深める。	①学部に応じ、進路に関する研修を実施する。 ②作成・活用についての研修を行う。	①進路に関する研修により知識や実践力が向上できたか。(教員アンケート「向上できた」85%) ②キャリアパスポートの活用について理解が進み作成できたか。

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
4	地域等との協働	地域のセンター的機能の充実を図るとともに、地域と連携した活動の機会を設ける	①教育相談コーディネーターを核に校内の人材を活用しながら学校コンサルテーションを充実させる。 ②地域に中原養護学校の持つ資源を発信していく。	①学校コンサルテーションの際にニーズに適した校内の人材も同行させる。 ②教材データベースや校内人材バンクを作成し、本校の持つ資源について情報整理をする。	①地域のニーズに応じた学校コンサルテーションが実施できたか。 ②本校の持つ資源を校内で共有し、地域へ発信していくことができたか。
5	学校管理 学校運営	保護者や地域から信頼・信用される安心安全な学校づくりを行う。	①安心安全で効率的な業務が遂行できる職場環境を作る。 ②保護者や地域に学校から適時情報発信を行う	①安心安全な環境や効率的な業務改善についてアイデア提案を募り具現化を検討する。 ②HP やツイッター、文書などを効果的に利用し情報発信を行う。	①アイデア・提案が具現化され職場環境が改善されたか。（教員アンケートから肯定的意見 80%以上） ②様々な情報が発信されたか。（保護者アンケートで肯定的意見 80%）